

～コミュニティを支える医療・教育・文化～

地域力を高め、人間の内面性を豊かにする
医療、教育、そして文化の姿とは—
そして、それらを育む新しいコミュニティづくりに向けて、
求められるものとは—

かながわ国際交流財団では、ミッションの一つとして「学術・文化交流を通じ、地球規模の課題解決に向けた地域からの将来像の提案」を掲げています。グローバル化の潮流の中で、生活様式の画一化やコミュニティ崩壊が起きている現象を踏まえ、また震災を契機とした社会情勢の変化を取り上げつつ、今後の地域社会としてあるべき姿を模索するため、「21世紀かながわ円卓会議」を開催します。講師・討議者として、多分野にわたる研究者、自治体首長、ジャーナリスト、実務家などが集い、2日にわたり集中的なディスカッションを行います。

新しいかながわの創造を目指して、アプローチするための4つのセッション・テーマ

- ◆趣旨説明 モデレーター：神野 直彦 東京大学名誉教授
- ◆セッション1 「地域主権の医療～命の格差に向き合う地域医療～」
講 師：色平 哲郎（JA長野厚生連・佐久総合病院地域医療部地域ケア科医長）
冒頭発言：町田 宗仁（厚生労働省医政局研究開発振興課高度医療専門官／前・長野県佐久保健福祉事務所長）
- ◆セッション2 「こどもと地域を結ぶ教育～地域から未来をつくる～」
講 師：佐藤 晴雄（日本大学文理学部教授）
冒頭発言：県内事例1（竹原 和泉・横浜市立東山田中学校コミュニティハウス館長）
県内事例2（小澤 光男・横須賀市消防局消防・救急課長「こども防災大学」）
- ◆セッション3 「地域文化を育む～歴史・伝統を受け継ぐ～」
講 師：赤坂 憲雄（学習院大学教授／福島県立博物館長）
冒頭発言：県内事例（三浦 正英・三浦市光照寺住職「オショロ流し」）
- ◆セッション4 「新エネルギーの時代へ～東日本大震災後の社会の行方～」
講 師：黒岩 祐治（神奈川県知事）
講 師：飯田 哲也（環境エネルギー政策研究所所長）
- ◆総括セッション 15：20～16：50（90分）
冒頭発言：落合 克宏（平塚市長）

- ◆討議者（五十音順）
池田 雅之 NPO法人鎌倉てらこや理事長 中嶋 弘孝 神奈川新聞社論説副主幹
川崎 あや NPO法人アクションポート横浜理事 中牧 弘允 国立民族学博物館民族文化研究部教授
小林 一紀 有限会社エコネットワークス代表取締役 中村 丁次 神奈川県立保健福祉大学学長
迫田 朋子 NHK制作局チーフ・ディレクター 諸富 徹 京都大学大学院経済学研究科教授
鶴田 光子 NPO法人多言語社会リソースかながわ理事長

- ◆21世紀かながわ円卓会議 運営委員会
樺山 紘一 印刷博物館館長／東京大学名誉教授 福原 義春 財団法人かながわ国際交流財団理事長
高島 肇久 株式会社日本国際放送特別専門委員 武藤 誠 財団法人かながわ国際交流財団常務理事
山崎美貴子 神奈川県立保健福祉大学顧問・名誉教授

多様な分野から集う講師・討議者が闘わせる議論によって新しいコミュニティの姿を描き出す2日間のプログラム

1日目
11月5日(土)
13：30～17：00

- 開会挨拶 13：30～
- 趣旨説明 13：40～14：10（30分）
モデレーター 神野 直彦（東京大学名誉教授）
- セッション1 14：10～14：40（レクチャー 30分）
「地域主権の医療～命の格差に向き合う地域医療～」
講 師 色平 哲郎（JA長野厚生連・佐久総合病院地域医療部地域ケア科医長）
コーヒープレイク 14：40～15：00（20分）
- ダイアログ 15：00～17：00（120分：冒頭発言10分+討議110分〔講師・討議者全員が発言〕）
冒頭発言 町田 宗仁（厚生労働省医政局研究開発振興課高度医療専門官／前・長野県佐久保健福祉事務所長）
- 1日目終了 17：00

2日目
11月6日(日)
9：30～17：00

- 前日の振り返り 9：30～9：40（10分）
モデレーター 神野 直彦
- セッション2 9：40～11：00（80分：レクチャー 20分+冒頭発言 10分×2+討議 40分）
「こどもと地域を結ぶ教育～地域から未来をつくる～」
講 師 佐藤 晴雄（日本大学文理学部教授）
冒頭発言 県内事例1（竹原 和泉・横浜市立東山田中学校コミュニティハウス館長）
県内事例2（小澤 光男・横須賀市消防局消防・救急課長「こども防災大学」）
休 憩 11：00～11：10（10分）
- セッション3 11：10～12：20（70分：レクチャー 20分+冒頭発言10分+討議40分）
「地域文化を育む～歴史・伝統を受け継ぐ～」
講 師 赤坂 憲雄（学習院大学教授／福島県立博物館長）
冒頭発言 県内事例（三浦 正英・三浦市光照寺住職「オショロ流し」）
昼 食 12：20～13：10（50分）
- セッション4 13：10～15：00（110分：レクチャー 40分&30分+討議40分）
「新エネルギーの時代へ～東日本大震災後の社会の行方～」
講 師 黒岩 祐治（神奈川県知事）
講 師 飯田 哲也（環境エネルギー政策研究所所長）
コーヒープレイク 15：00～15：20（20分）

- 総括セッション 15：20～16：50（90分）
冒頭発言 落合 克宏（平塚市長）
閉会挨拶 16：50
閉 会 17：00

新しいかながわを

～コミュニティを支える医療・教育・文化～

聴講 お申込み

聴講申込書(以下)もしくはメールに必要事項を記載してお申込ください。申込み締切は10月28日(金)です。申込者多数の場合には抽選となりますが、締切後、結果の如何に関わらず、お申しいただいた方全員へご連絡いたします。
※ご登録いただいた個人情報は、当財団のみが取り扱い、本フォーラムの事務や当財団のイベントのご案内以外の目的には使用いたしません。

昼食 お申込み

昼食は湘南国際村センター内2階のレストラン“桂”または1階のカフェテリア“オーク”のご利用ができます。“オーク”での食事(1,200円)は事前申込みが必要ですので、ご希望の方は申込書の所定の欄にチェックをご記入ください。

【聴講申込書】新しいかながわを築く ～コミュニティを支える医療・教育・文化～

ファックス **046-858-1210** メール shimizu@kif.ac

フリガナ
氏名

所属 部署

住所 〒

電話 ファックス

メール

【11月6日昼食(1,200円)】 希望する(当日に参加費とともにお支払いください)
【インタビュー集『知をめぐる対話』(500円)】 希望する(→当日受渡し または 事前送付)

交通案内

①逗子駅・新逗子駅発 湘南国際村行きのバス

JR逗子駅前1番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗り、「湘南国際村センター前」下車。約30分、340円。JR逗子駅発車後2～3分で、京急新逗子駅前1番バス乗り場に停車。

②京急汐入駅発 湘南国際村行きのバス

京急汐入駅前2番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗り、「湘南国際村センター前」下車。約30分、370円。

【タクシーをご利用の場合】 JR逗子駅前タクシー乗り場より湘南国際村センターまで約15分、約2,800円。

【高速バスをご利用の場合】 横浜駅東口(Y-CAT)より湘南国際村センターまで約40分、900円。

【交通案内HP】

<http://www.shonan-village.co.jp/access.html>



【問合せ】(財)かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター(担当:清水)
電話 046(855)1821 メール shimizu@kif.ac



■インタビュー集『知をめぐる対話』

財団ニュースレター掲載のインタビュー集。“現在を見つめ、未来を描く”湘南国際村学術研究センターの事業にご協力いただいた、多分野にわたる方々へのインタビューを収録。

- 【私たちの世界】 榊山紘一・藤原帰一・田中均
- 【豊かに生きる】 竹内恒夫・池内了・江藤裕之
- 【女性と自立】 坂東真理子・山崎美貴子
- 【アートのカ】 建畠 哲・北川フラム・山梨俊夫
- 【未来を描く】 小平桂一・鈴木佑司・神野直彦

好評
販売中

ご希望の方は申込書の所定の欄にチェックをご記入ください。当日受渡しではなく、事前送付をご希望の場合は「ご案内」「お振込み銀行口座」をお送りします。(500円/A4判/70ページ)

2011年
11月5日(土) 13:30～17:00
6日(日) 9:30～17:00



(前回の様子)

◆モデレーター

神野 直彦 東京大学名誉教授

◆講師

- 色平 哲郎 JA長野厚生連・佐久総合病院地域医療部地域ケア科医長
- 佐藤 晴雄 日本大学文学部教授
- 赤坂 憲雄 学習院大学文学部教授/福島県立博物館長
- 黒岩 祐治 神奈川県知事
- 飯田 哲也 環境エネルギー政策研究所所長



神野 直彦



黒岩 祐治



飯田 哲也



主催 財団法人かながわ国際交流財団 神奈川県
協力 横浜市民放送局

築く